

令和6年度第2回地域連携担当者研修会

1月22日（水）

「つながる地域と学校、高めようコーディネート力Ⅱ」

ファシリテーター、まちづくりアドバイザー：遠藤 智栄 氏（株式会社ばとん代表取締役）



【受講者の声】※抜粋

- ・地域内での情報交換、他地域からの情報提供の場が設定されており、とても有意義だった。
- ・学区の中学校、公民館の皆さんが試していきたいことを把握することができた。一緒に手をとってやっていくことで、学校も地域も元気になる可能性を感じた。
- ・地域連携担当は、教務主任も多いと思うが、この時期だと計画はほぼ終わっているため、いかすためと考えると少し遅いと感じた。
- ・じっくりと話し合う時間がとれたことがよかった。立場が異なると地域を見る視点が変わってくることがよく分かり、地域を多角的に捉えることができた。
- ・小・中・公が集まる機会がないので、貴重な情報共有の場となった。自主的に集まる機会を作っていきたいと思う。
- ・事例もたくさん紹介していただき、とても参考になった。他地域の取組も共有することができ、次年度計画にいかせそうなアイデアをたくさん思いついた。
- ・地域内はもとより、校種間でも多くのアイデアを共有でき、次年度への見通しが広がったので、意見交換できるワークショップ型の研修会はありがたかった。
- ・何ができるか、何をしたいのかを地域、学校、公民館で共有しながら計画し、よりよい内容で子どもたちに学んでもらいたいと思った。他校の先生方の意見がヒントになった。
- ・この場で話し合ったことが、実際発展して具体的な取組につながりそうなので、このような小・中・公の連携の場を作っていただくのはとても有意義だと思った。